

ひびきあい No.15

平成29年3月 岐阜県人権教育協議会

すべての子どもに「安心した学校生活」を保障する

～人権感覚の育成に必要な「隠れたカリキュラム」～

児童生徒の人権感覚の育成には、体系的に整備された正規の教育課程と並び、いわゆる「隠れたカリキュラム」が重要であるとの指摘がある。「隠れたカリキュラム」とは、教育する側が意図する、しなやかに関わらず、学校生活を営む中で、児童生徒自らが学びとっていく全ての事柄を指すものであり、学校・学級の「隠れたカリキュラム」を構成するのは、それらの場の在り方であり、雰囲気といったものである。例えば、「いじめ」を許さない態度を身に付けるためには、「いじめはよくない」という知的理解だけでは不十分である。実際に、「いじめ」を許さない雰囲気が浸透する学校・学級で生活することを通じて、児童生徒ははじめて「いじめ」を許さない人権感覚を身に付けることができるのである。だからこそ、教職員一体となつての組織づくり、場の雰囲気づくりが重要である。

【出典：「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」より】



人権教育推進のための校内体制を見直す ～10のポイント～



- 県・市町村の人権教育基本方針を基に、自校の実態を踏まえた全体計画が作成されているか。
- 校長のリーダーシップのもと、人権教育推進組織が設置され、定期的に協議がもたれるなどして実際に機能しているか。
- 日常観察、生活の記録、意識調査等に基づいて児童生徒の生活意識の実態を把握したうえで、「ひびきあいの日」の取組等、様々な人権問題について考える指導計画が立てられているか。
- 重点を置いた領域について、学年ごとに一貫性をもって実践計画が立てられているか。
- 重点を置いた領域について、月別の指導計画が具体的な内容をもった実践として設定されているか。
- 「人権教育の観点」が明確に位置付けられ、実践の中での的確に貫かれているか。
- 教職員のどんな力量を高めているかを明確に位置付けたうえで、研修会が年間を通して企画されているか。
- PTA・地域に対する人権啓発が、家庭教育学級・広報活動等を通して意図的・計画的に行われているか。
- 学級経営上はもちろんのこと、職員会・学年会・教科部会等においても、人権教育実践についての見届けが、児童生徒の姿を通して日常的に行われているか。
- 人権問題・人権教育に関する認識不足による表現や「差別用語」を用いたりしていないか。

「人権という普遍的文化」 を築いていくために



—「ひびきあいの日」を核とした継続的な取組の充実—

「人権教育における行動力の育成」を主たる目的とする「ひびきあいの日」の取組は、県内の多くの園・学校において優れた実践が行われています。本年度も特に優れた184校が表彰されましたが、今回はその中から、優れた取組を継続して行っている「人権文化あふれる学校賞」を受賞した園・学校の実践事例を紹介します。

○小学生や中学生とのふれ合いを通して、思いやりの心を育てています。

～岐阜市立岐阜東幼稚園～

＜平成18、19、25～28年度「ひびきあい賞」＞

○継続して取り組んでいること

- ・地域の方に田植えの仕方を教えてもらったり、親子で汗を流して一緒に作業をしたりすることで、感謝の気持ちや互いを敬う気持ちを育んでいます。
- ・祖父母と共に歌ったり、ゲームをしたりして高齢者とのふれ合いを楽しみ、身近な人に自分から進んで関わろうとする気持ちや相手を思いやる気持ちを育てています。



○一人一人の命を輝かせることができるように「誰をも大切にできる子」を育成しています。

～下呂市立下呂小学校～

＜平成22、24～28年度「ひびきあい賞」＞

○継続して取り組んでいること

- ・1学期と2学期に人権に関わる集会を行い、集会後には、心の変容が見られた児童の感想や日記を放送や掲示で紹介しています。
- ・執行部による「はあとの葉」（よいこと見つけ）やなかよし委員会による異年齢集団での活動を行っています。年間を通して行うことで、自分や仲間を大切にすることを意識を高めています。



○地域と連携して人権意識の啓発を図り、人権教育に取り組んでいます。

～県立武義高等学校～

＜平成18、23、25～28年度「ひびきあい賞」＞

○継続して取り組んでいること

- ・学年に応じた統一テーマを設けて各クラスで人権に関するHR活動を実施し、表現力や発信力を育んでいます。
- ・各教科における授業等、日々の教育活動を通して人権意識を高めています。
- ・美濃市との連携を図り市主催のメッセージ展への作品応募や人権講座への参加、地域ボランティア活動に積極的に取り組んでいます。



○心のふれあい活動を通して、自分の思いを表現できる力を育てています。

～県立岐阜盲学校～

＜平成20、24～28年度「ひびきあい賞」＞

○継続して取り組んでいること

- ・全校の取組として、「心のふれあい活動」を実践しています。中学部と高等部普通科では、毎月1回あいさつ運動を実施し、地域の方や仲間に関わろうとする姿勢を育てています。また、普通科では、交流校の岐阜盲学校と協力し、パネルシアターを製作し、地域の幼稚園等で発表しました。子どもたちと触れ合うことで人を思いやる気持ちを育てています。

